

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024 年 4 月 26 日

都道府県知事 殿

病院名 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
開設者 社会医療法人財団慈泉会
理事長 相澤 孝夫

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

記入日：西暦 2024年4月26日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030349	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 相澤病院臨床研修病院群 番号 0303492
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ アヅハラ ヅシ 氏名(姓) (名) 栗津原 剛	役職 医学研修部門 事務部長 (内線 7959) (直通電話 (0263) 33—8600) e-mail : kensyuu1@ai-hosp.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シヤカイリョウホウジンガ イダンジセンカイ アイザワビョウイン 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 3 9 0 - 8 5 1 0 (長野 都・道・府・県) 松本市本庄 2-5-1 電話 : (0263) 33—8600 FAX : (0263) 33—8716 二次医療圏 の名称 : 松本医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シヤカイリョウホウジンガ イダンジセンカイ 社会医療法人財団慈泉会		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 3 9 0 - 8 5 1 0 (長野 都・道・府・県) 松本市本庄 2-5-1 電話 : (0263) 33—8600 FAX : (0263) 33—8716		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ 妙子 姓 田内	カツリ 姓 克典	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https://aizawahospital.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030349

臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：156名、非常勤（常勤換算）： 4.24名 計（常勤換算）： 160.24名、医療法による医師の標準員数： 44名* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2023年 1月 30日、告示番号：第 376号
	医療計画上の位置付け	① 初期救急医療機関 ② 第二次救急医療機関 ③ 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	① 有（ 374.8 ）m ² ② 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 35,048件（うち診療時間外： 21,509件） 1日平均件数： 96.0件（うち診療時間外： 58.9件） 救急車取扱件数： 6,834件（うち診療時間外： 4,558件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3名、看護師及び准看護師： 5名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ① 有 ② 無 外科系 ① 有 ② 無 小児科 ① 有 ② 無 その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 456床、2. 精神： 4床、3. 感染症： _____床 4. 結核： _____床、5. 療養： _____床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 12.3日、2. 精神： _____日、3. 感染症： _____日 4. 結核： _____日、5. 療養： _____日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 380件、異常分娩件数： 56件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 5回、今年度見込： 5回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績： 9件、今年度見込： 10件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ① 有 ② 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	① 有（単身用： 30戸、世帯用： _____戸） ② 無（住宅手当： _____円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	① 有（ 1室） ② 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 74 ）m ²
	医学図書数	国内図書： 2900冊、国外図書： 200冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 59種類、国外雑誌： 16種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ① 有 ② 無、教育用コンテンツ ① 有 ② 無、 その他（ _____ ） 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ① 有 ② 無、 その他（ _____ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ムカイ トモミ 氏名（姓） 向井 氏名（姓） 知巳 役職 診療情報管理課長													
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他（具体的に： ）													
	診療録の保存期間 診療録の保存方法	（ 永久 ） 年間保存 ①. 文書 ②. 電子媒体 その他（具体的に： ）													
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有（ 1名 ） 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>													
	安全管理部門の設置状況	職員：専任（ 3 ）名、兼任（ 3 ）名 主な活動内容：例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療安全報告の収集及び、分析・評価に基づく改善活動の推進並びに再評価の実施。患者・家族からの苦情や意見の受付・対応・関係部署との調整。医療事故発止時の情報収集、関係委員会の開催・患者家族への対応・支援。医療安全に資する職員研修。医療安全情報の配信等。													
	患者からの相談に適切に 応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ マヤマ マサル 氏名（姓） 丸山 氏名（姓） 勝 役職 患者相談室長 兼 カスタマーサポート室長 対応時間（ 9：00 ～ 17：00 ） 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無													
	医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容： 安全管理のための組織、職員研修、医療安全報告や苦情報告からの医療安全対策の取り組み、医療安全情報の共有と活用、医療事故発生時の対応、患者からの相談への対応、規程の閲覧に関する基本方針等													
	医療に係る安全管理委員会の 開催状況	年（ 12 ）回 活動の主な内容： 医療安全報告の分析・評価・改善策の策定、医療事故情報の収集及び周知、職員研修の立案及び実施結果の評価、苦情・相談の検証、医療事故防止のための規程の立案、モニタリング等。													
	医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	年（ 2 ）回 研修の主な内容： 医療安全管理体制、医療事故防止対策、医療者間コミュニケーション、危険予知訓練、迷惑行為等。													
	医療機関内における事故報告等の 医療に係る安全の確保を目的とした 改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： 診療録のレビューや患者・家族等の意見から問題点を抽出し、関係委員会又は関係部署と連携し、改善策を立案して改善を行っているほか、年1回「医療安全推進週間」を設け、目標を明確にして全職員参加による取り組みを行い、院内の医療安全意識の向上を図っている。													
20. 前年度に臨床研修を修了又は 中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 10名 中断： 0名														
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">前々年度</th> <th style="width: 30%;">前年度</th> <th style="width: 30%;">当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>10名</td> <td>10名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>10名</td> <td>10名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>				前々年度	前年度	当該年度	1年	10名	10名	10名	2年	10名	10名	10名
	前々年度	前年度	当該年度												
1年	10名	10名	10名												
2年	10名	10名	10名												
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出	許可病床数（ 460 ）床 ÷ 10 = （ 46 ）名													
	患者数から算出	年間入院患者数（ 10,445 ）人 ÷ 100 = （ 104.5 ）名													
23. 精神保健福祉士、作業療法士 その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>	1. 精神保健福祉士： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）														
	2. 作業療法士： 46名（常勤： 46名、非常勤： 0名）														
	3. 臨床心理技術者： 3名（常勤： 3名、非常勤： 0名）														
	9. その他の精神科技術職員： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）														
24. 臨床研修に関する第三者 評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>	1. 有（評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構（2020年10月27日）） 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small> 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 0. 無														

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名 男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7時45分～19時00分) ※通常保育時間
	保育補助		病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無)
	その他の補助 (具体的に：院内保育所で一時保育も対応している)		その他の補助 (具体的に：院内保育所で一時保育も対応している)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		(病児保育受託) 松本市の病児保育を当院が受託し、院内に病児保育室が設置されている。職員にとって非常に利用しやすい環境となっている。
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (人事部) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (コンプライアンス室) 窓口の専任担当 (1. 有 (1名) 0. 無	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：相澤病院卒後臨床研修プログラム プログラム番号： <u>030349203</u>
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1年次： 10名、2年次： 10名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ アヅハラ ツシ 氏名(姓) 栗津原 剛 所属 医学研修部門 役職 事務部長 電話：(0263) 33—8600 FAX：(0263) 33—8716 e-mail：kensyuu1@ai-hosp.or.jp URL：https://aizawahospital.jp/
	資料請求先		住所 千 390-8510 (長野 都・道・府 県) 松本市本庄 2-5-1 担当部門 担当者氏名 フリガナ イヅワ ショウコ 姓 伊沢 翔子 電話：(0263) 33—8600 FAX：(0263) 33—8716 e-mail：kensyuu1@ai-hosp.or.jp URL：https://aizawahospital.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 (続き) (基幹型記入)</p>	<p>募集方法</p> <p>応募必要書類 (複数選択可)</p> <p>選考方法 (複数選択可)</p> <p>募集及び選考の時期</p> <p>マッチング利用の有無</p>	<p>① 公募 ② その他 (具体的に:)</p> <p>① 履歴書、② 卒業(見込み)証明書、③ 成績証明書、 ④ 健康診断書、⑤ その他 (具体的に:)</p> <p>① 面接 ② 筆記試験 その他 (具体的に:)</p> <p>募集時期: 4月 1日頃から 選考時期: 4月 1日頃から</p> <p>① 有 ② 無</p>		
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要: * 別紙3に記入 (作成年月日: 西暦 年 月 日)</p>			
<p>32. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p>	<p>(プログラム責任者) フリガナ ヤマト トモキ 氏名(姓) 山本 氏名(姓) 智清</p> <p>所属 役職 卒後臨床研修センター センター長</p> <p>(副プログラム責任者) ① 有 (1名) ② 無</p>			
<p>33. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>全ての臨床研修指導医等 (協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>			
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>① 有 (・ EPOC ・ その他 ()) ② 無</p>			
<p>35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦 2025年 4月 1日</p>			
<p>36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</p> <p>常勤・非常勤の別</p> <p>研修手当</p> <p>勤務時間</p> <p>休暇</p> <p>当直</p> <p>研修医の宿舎 (再掲)</p> <p>研修医室 (再掲)</p> <p>社会保険・労働保険</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>② 病院独自の処遇とする。</p> <p>① 常勤 ② 非常勤</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (315,000円) 賞与/年 (650,000円)</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (390,000円) 賞与/年 (700,000円)</p> </td> </tr> </table> <p>時間外手当: ① 有 ② 無 休日手当: ① 有 ② 無</p> <p>基本的な勤務時間 (8:30~17:10) 24時間表記 休憩時間 (1時間)</p> <p>時間外勤務の有無: ① 有 ② 無</p> <p>有給休暇 (1年次: 10日、2年次: 11日) 夏季休暇 (① 有 ② 無) 年末年始 (① 有 ② 無) その他休暇 (具体的に: 年2回、1週間の休暇有り)</p> <p>回数 (約 6回/月)</p> <p>① 有 (単身用: 30戸、世帯用: 戸) ② 無 (住宅手当: 円)</p> <p>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p> <p>① 有 (1室) ② 無</p> <p>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p> <p>公的医療保険 (協会けんぽ) 公的年金保険 (厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 ② 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用 ① 有 ② 無 雇用保険 ① 有 ② 無</p>	<p>一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (315,000円) 賞与/年 (650,000円)</p>	<p>二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (390,000円) 賞与/年 (700,000円)</p>
<p>一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (315,000円) 賞与/年 (650,000円)</p>	<p>二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (390,000円) 賞与/年 (700,000円)</p>			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理 医師賠償責任保険の扱い 外部の研修活動 院内保育所（再掲） 保育補助（再掲） 体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲） その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲） 研修医のライフイベントの相談窓口（再掲） 各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	健康診断（年 2 回） その他（具体的に _____ ） 病院において加入 <input checked="" type="radio"/> 1. する <input type="radio"/> 0. しない 個人加入 <input checked="" type="radio"/> 1. 強制 <input type="radio"/> 0. 任意 学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 1. 可 <input type="radio"/> 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 院内保育所の有無 <input type="radio"/> 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無 <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください（7時45分～19時00分） ※通常保育時間</small> 病児保育 <input type="radio"/> 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無 夜間保育 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 1. 可 <input type="radio"/> 0. 不可 ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 <input type="radio"/> 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無 その他の補助（具体的に：院内保育所で一時保育も対応している） 休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 （ 病児保育受託 ） 松本市の病児保育を当院が受託し、院内に病児保育室が設置されている。職員にとって非常に利用しやすい環境となっている。 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 人事部 _____ ） 窓口の専任担当 <input type="radio"/> 1. 有（ _____ 名） <input checked="" type="radio"/> 0. 無 窓口の名称を記入（ コンプライアンス室 _____ ） 窓口の専任担当 <input checked="" type="radio"/> 1. 有（ 1名） <input type="radio"/> 0. 無
37. 研修医手帳 <small>（基幹型記入）</small>	1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無	
38. 連携状況 <small>（基幹型記入）</small>	* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
 - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
 - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
 - 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。
 - 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
 - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
 - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
 - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
 - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
 - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
 - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
 - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
 - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
 - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ヤマモト トモキヨ 姓 山本 名 智清	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	卒後臨床研修センター長、総合内科統括医長	研修管理委員長、研修実施責任者、プログラム責任者、臨床研修指導医（指導医）
フリガナ タウチ カツノリ 姓 田内 名 克典	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	院長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ミヤウチ ナオト 姓 宮内 名 直人	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	卒後臨床研修副センター長、救急科医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ キタザワ カズオ 姓 北澤 名 和夫	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	副院長、脳卒中脳神経センター長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ アラクラ ノリカズ 姓 新倉 名 則和	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	副院長・診療部長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ アイザワ カツユキ 姓 相澤 名 克之	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	副院長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ オタギリ ノリアキ 姓 小田切 名 範晃	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	外科センター長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヨシイケ ショウイチ 姓 吉池 名 昭一	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	救命救急センター長、救急科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヤマシタ コウ 姓 山下 名 浩	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	糖尿病センター長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ オグチ トモマサ 姓 小口 名 智雅	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	腎臓病・透析センター長	臨床研修指導医（指導医）

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ハシモト タカオ 姓 橋本 名 隆男	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	脳神経内科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ミズシロ ナオト 姓 水城 名 直人	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	小児科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ スズキ チヒロ 姓 鈴木 名 智裕	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	循環器内科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ オガサワラ リュウコウ 姓 小笠原 名 隆行	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	麻酔科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ キクチ ニロウ 姓 菊池 名 二郎	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	形成外科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ シオハラ シゲキ 姓 塩原 名 茂樹	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	産婦人科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ シモジョウ ヒサシ 姓 下条 名 久志	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	病理診断科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ タカタ ムネタケ 姓 高田 名 宗武	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	呼吸器内科医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヤコ タケヒロ 姓 八子 名 武裕	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	脳神経外科統括医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ アイザワ タカオ 姓 相澤 名 孝夫	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	理事長	法人代表者、医師

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ コサカ マサミ 姓 小坂 名 晶巳	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	副院長（看護担当）	指導者
フリガナ ナカジマ ミツアキ 姓 中島 名 光章	社会医療法人財団慈泉会	慈泉会本部長	事務責任者
フリガナ アワツハラ ツヨシ 姓 粟津原 名 剛	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	医学研修部門事務部長	事務担当者
フリガナ ニイムラ アカネ 姓 新村 名 茜	社会医療法人財団慈泉会相澤病院		研修医
フリガナ サトウ アヤネ 姓 佐藤 名 文音	社会医療法人財団慈泉会相澤病院		研修医
フリガナ セキ ケン 姓 関 名 健	社会医療法人城西医療財団城西病院・神城醫院	施設管理者・理事長・総長	研修協力病院（城西病院）、協力施設（神城醫院）研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
フリガナ クワムラ サトル 姓 桑村 名 智	社会医療法人城西医療財団ミサトピア小倉病院	施設管理者・院長	研修協力病院研修実施責任者、臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヒグチ ツカサ 姓 樋口 名 司	長野県立こども病院	総合小児科部長	研修協力施設研修実施責任者、臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヨコボリ ショウジ 姓 横堀 名 将司	日本医科大学付属病院	臨床研修センター長	研修協力病院研修実施責任者、臨床研修指導医（指導医）
フリガナ カタイ サトシ 姓 片井 名 聡	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	診療部長兼 リハビリテーション部長	研修協力施設研修実施責任者、臨床研修指導医（指導医）

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 3回）

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ミヤタ カズノブ 姓 宮田 名 和信	社会医療法人財団慈泉会相澤東病院	病院長	研修協力施設研修実施責任者、臨床 研修指導医（指導医）
フリガナ コミヤマ ユウイチ 姓 小見山 名 祐一	小見山医院	院長	研修協力施設研修実施責任者、臨床 研修指導医（指導医）
フリガナ カラキ チホ 姓 唐木 名 千穂	あかはね内科・神経内科医院	院長	研修協力施設研修実施責任者
フリガナ シラサワ カズコ 姓 白澤 名 和子			外部委員（地域住民代表）
フリガナ 姓 名			
フリガナ 姓 名			
フリガナ 姓 名			
フリガナ 姓 名			
フリガナ 姓 名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院（長野県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員		
長野県	松本	(病院施設番号:030349)		長野県	松本		城西病院 (病院施設番号:030351)					(病院施設番号:)		相澤病院卒後臨床研修プログラム	10		
				長野県	松本		ミサトピア小倉病院 (病院施設番号:030350)						(病院施設番号:)		相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
				東京都	区中央部		日本医科大学付属病院 (病院施設番号:030183)							(病院施設番号:)		相澤病院卒後臨床研修プログラム	10
							(病院施設番号:)		長野県	松本		長野県立こども病院 (病院施設番号:031621)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)		長野県	松本		神城醫院 (病院施設番号:033339)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)		長野県	上小		鹿教湯病院 (病院施設番号:096540)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)		長野県	松本		小見山医院 (病院施設番号:191280)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)		長野県	松本		相澤東病院 (病院施設番号:191279)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)		長野県	松本		あかはね内科・神経内科医院 (病院施設番号:096561)			相澤病院卒後臨床研修プログラム	10	
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)					

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ・鹿教湯病院（二次医療圏：上小）は、相澤病院から比較的近距离にあり、療養にも力を入れているので地域医療研修を実施するに適切であると判断した。
- ・日本医科大学付属病院（二次医療圏：区中央部）は、高度救命救急センターにおける3次救急対応を含め救命救急に関しては本邦で最も優れた医療を提供している病院である。一方、当院は特に救命救急医療に力を入れ、臨床研修においても重視していることから、2年次研修において短期でも当該病院の高度救命救急センターにおいて研修する価値が高いと判断し協力型病院として選択している。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

臨床研修病院群を構成する関係施設相互間の連携体制

基幹型臨床研修病院名（病院施設番号）： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院（ 030349 ）

臨床研修病院群名： 相澤病院臨床研修病院群 臨床研修病院群番号： 0303492

基幹型臨床研修病院の指定申請の際には、基幹型臨床研修病院名の部分に申請病院名を記入してください。

既に臨床研修病院群番号を取得されている臨床研修病院群については、番号も記入してください。

医師の往来の有無	1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> （いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
医療機器の共同利用	1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> （いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
合同臨床病理検討会の開催	1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> （いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
その他の診療及び臨床研修についての連携	<p>1. <input checked="" type="radio"/> 有 0. <input type="radio"/> 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）</p> <p>相澤病院は、地域医療支援病院として城西病院、桔梗ヶ原病院など地域の病院・診療所と連携し、専門外来や緊急性の高い救急医療、入院等による診療支援を積極的に行っている。更に「地域医療支援病院委員会」を4半期に1回開催し、委員である医師会・市町村の代表者、及び学識経験者らからの意見を受けて、地域における医療の確保に努めている。本委員会では当院の臨床研修に関わる役割・機能・運営に関しても助言を受けて臨床研修の充実に取り組んでいる。</p> <p>協力型病院および協力施設とは常に連絡を取ることができる体制であり、研修スケジュールの調整、研修医に関すること、評価などについて適宜、連絡を取っている。</p>

※記入しないこと

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：	社会医療法人財団慈泉会相澤病院
病院施設番号：	030349

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科目の診療科		その他の研修を行う診療科								合 計
							産科	婦人科		脳神経外科 再掲	形成外科 再掲	整形外科	心臓血管外科 再掲	耳鼻いんこう科	眼科	泌尿器科	リハビリ科	病理診断科	その他	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	5,098	6,169 (35,048)	2,300	—	190	536 (380)	—	—	—	838	216	1,317	156	229	102	598	75	—	—	10,445
年間新外来患者数	4,861	22,814	1,623	—	205	214	—	—	—	339	573	970	34	492	285	550	15	—	—	9,215
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	372 (244)	96.1 (365)	147.7 (244)	— (—)	7.8 (244)	25.3 (244)	— (—)	— (—)	— (—)	24 (244)	23.2 (244)	103.9 (244)	12.9 (244)	15.7 (244)	17.2 (244)	34.4 (244)	7.3 (244)	— (—)	— (—)	
平均在院日数	13.9	—	12.4	—	4.1	6.6	—	—	—	17.2	10.2	11.5	15.8	3.5	2.3	6.1	62.8	—	—	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	42 (23)	14 (9)	19 (13)	6 (5)	3 (2)	4 (2)	()	()	1 (1)	5 (4)	3 (3)	9 (3)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	4 (2)	2 (2)	3 (2)	13 (5)	133 (80)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)		臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会相澤病院												
		病院施設番号： 030349												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
相澤病院	内科	14	8	9	7	6	5	6	4	1	2	4	4	3
富山大学附属病院	内科	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1
信州大学医学部附属病院	内科	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
埼玉医科大学国際医療センター	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	内科合計	16	10	10	8	7	5	6	6	4	4	6	6	4
相澤病院	救急科	1	4	2	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2
富山大学附属病院	救急科	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
信州大学医学部附属病院	救急科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
北アルプス医療センター	救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急科合計	1	4	3	4	4	3	3	2	2	2	2	2	3
相澤病院	外科	0	2	1	1	2	3	2	1	0	2	1	1	1
富山大学附属病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
信州大学医学部附属病院	外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科合計	0	2	1	2	2	3	2	1	0	2	1	1	1
相澤病院	麻酔科	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2
富山大学附属病院	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
信州大学医学部附属病院	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	麻酔科合計	1	1	2	2	2	2	2	1	1	2	1	2	2
相澤病院	小児科	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1
相澤病院	産婦人科	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0

- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)		臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会相澤病院													
		病院施設番号： 030349													
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
相澤病院	内科	13	9	9	6	4	4	4	3	3	2	3	4	5	
富山大学附属病院	内科	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	
信州大学医学部附属病院	内科	1	0	0	1	2	2	1	1	2	1	0	0	0	
埼玉医科大学国際医療センター	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
	内科合計	14	9	9	8	6	6	5	5	7	4	4	5	6	
相澤病院	救急科	1	4	1	3	4	2	2	2	2	2	1	2	2	
富山大学附属病院	救急科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
信州大学医学部附属病院	救急科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
北アルプス医療センター	救急科	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救急科合計	2	5	4	4	5	2	3	2	2	3	2	2	2	
相澤病院	外科	1	0	1	2	2	3	1	1	1	2	1	2	1	
富山大学附属病院	外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
信州大学医学部附属病院	外科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外科合計	2	1	2	2	2	3	1	1	1	2	1	2	2	
相澤病院	麻酔科	2	1	1	1	2	2	2	2	1	2	1	0	1	
富山大学附属病院	麻酔科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
信州大学医学部附属病院	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	
	麻酔科合計	2	2	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	
相澤病院	小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	
相澤病院	産婦人科	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030349203

病院施設番号： 030349 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

臨床研修病院群番号： 0303492 臨床研修病院群名： 相澤病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		相澤病院卒後臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		当院は急性期医療に取り組んでいます。そのため臨床症例が豊富です。カンファレンスやシミュレーション施設の充実により目標の確認ができ、医学英語研修も重視し、最新の情報の修得、グローバルな感覚を育成します。			
3. 臨床研修の目標の概要		医師として的人格を涵養し、将来の専門性に係わらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけます。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。研修終了後、内科、外科、救急科での専門研修（3年間）が可能			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030349	相澤病院	26週	0.1~4.0週
	救急部門	030349	相澤病院	12週以上	
	地域医療	030351・116063 191280・191279 096561・	城西病院・鹿教湯病院 小見山医院・相澤東病院 あかはね内科・神経内科医院	4週	一般外来 0.1~4.0週 在宅診療 0.1週
	外科	030349	相澤病院	6週	0週
	小児科	030349	相澤病院	4週	0.1~4.0週
	産婦人科	030349	相澤病院	4週	
	精神科	030351	城西病院	4週	
	一般外来			週	
病院で定めた必修科目	形成外科	030349	相澤病院	2週	週
	麻酔科	030349	相澤病院	8週	週
	脳卒中センター	030349	相澤病院	4週	週
	検査科	030349	相澤病院	1週	週
選択科目	その他：備考	030349・031621 030183	相澤病院、県立こども病院 日本医科大学付属病院 等	29週	週
備考：①入職時オリエンテーションを内科研修に含み、医師としての視野を拡げることが目的とした休暇4週（各学年次：夏季1週、冬季1週）を選択研修に含む。②一般外来は、内科・小児科・地域医療で4週以上を確保する。③CPC:相澤病院で実施。④必修科目：原則として相澤病院で67週、地域医療・精神科は協力病院・施設で各4週を研修期間とする。救急科はブロック研修12週その他、2年間で月6回程度の日・当直を行うことで国が定める12週以上の研修を満たすものとする。⑤麻酔科における研修期間は救急部門の研修期間には含めない。⑥選択科目：相澤病院は上記診療科に加え、整形外科・心臓血管外科・泌尿器科・耳鼻いんこう科・眼科・緩和ケア科・化学療法科・病理診断科・リハビリテーション科・放射線診断科・精神神経科、協力病院・施設は県立こども病院（小児科）・日本医科大学付属病院（救急科）等も選択可能。研修期間は原則4週とする。但し検査科でのエコー研修は2週間を限度とする。なお研修協力施設における研修期間は原則として合計12週以内とする。					

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科	山本 智清	相澤病院	卒後臨床研修センター長、 総合内科統括医長	26	○	H24年度ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ責任者養成講習会、H13年度 医療研修推進財団指導医養成講習会、総合 内科専門医、消化器内視鏡専門医・消化器 病専門医	30349203	1, 3, 4
救急科	宮内 直人	相澤病院	救急科医長	11	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ ﾌﾟ2020 救急科専門医	30349203	2, 4
内科	寺川 偉温	相澤病院	総合内科医長	21	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ ﾌﾟ2017、消化器内視鏡専門医、総合内科専 門医	30349203	4
内科	手島 憲一	相澤病院	総合内科医長	25	○	H20年度VHJ機構指導医養成講座、総合内科 専門医、消化器病専門医	30349203	4
内科	竹内 大輔	相澤病院	総合内科医長	18	○	富山大学附属病院第18回臨床研修指導医養成 セミナー、消化器外科専門医、消化器病 専門医、がん治療認定医	030349203	4
内科	雨宮 哲郎	相澤病院	総合内科医師	11	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワーク ショップ2023、認定内科医、インフェク ションコントロールドクター	030349203	4
内科	新倉 則和	相澤病院	消化器病センター長	30	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショ ｯﾌﾟ2008、総合内科専門医、消化器病専門医	30349203	4
内科	藤元 瞳	相澤病院	消化器内科医長	19	○	H26年度JA厚生連研修医教育のためのワークショ ｯﾌﾟ、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医	30349203	4
内科	齊藤 博美	相澤病院	消化器内科医長	13	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショ ｯﾌﾟ2017、消化器病専門医、消化器内視鏡専 門医	30349203	4
内科	雄山 澄華	相澤病院	消化器内科医長	10	○	第19回臨床研修指導医養成セミナー (R4)、消化器病専門医	030349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科	鈴木 智裕	相澤病院	循環器内科統括医長	27	○	H21年度JA厚生連研修教育のためのワークショップ、総合内科専門医、循環器専門医	30349203	4
内科	相澤 克之	相澤病院	循環器内科医長	18	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2014、循環器内科専門医、総合内科専門医	30349203	4
内科	千田 啓介	相澤病院	循環器内科医長	16	○	信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2018、循環器内科専門医、総合内科専門医	30349203	4
内科	竹内 崇博	相澤病院	循環器内科医長	21	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2023、循環器専門医、不整脈専門医	030349203	4
内科	橋本 隆男	相澤病院	脳神経内科特任統括医長	41	○	H17年度VHJ機構指導医養成講座、神経内科専門医、総合内科専門医	30349203	4
内科	山下 浩	相澤病院	糖尿病センター長	26	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2006、総合内科専門医、糖尿病専門医	30349203	4
内科	相澤 徹	相澤病院	糖尿病センター顧問	48	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2010、糖尿病専門医、内分泌代謝科専門医	30349203	4
内科	中曽根 泰人	相澤病院	糖尿病内科医師	13	○	富山大学附属病院第18回臨床研修指導医養成セミナー、糖尿病専門医	030349203	4
内科	宮腰 隆弘	相澤病院	糖尿病内科医長	13	○	信大病院と中心とした医師卒後教育ワークショップ2022、糖尿病専門医	030349203	4
内科	小口 智雅	相澤病院	腎臓内科統括医長	32	○	H18年度VHJ機構指導医養成講座、透析指導医、腎臓専門医、総合内科専門医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科	戸田 滋	相澤病院	腎臓内科医長	20	○	JA長野厚生連第10回研修医教育のためのワークショップ、腎臓専門医、透析専門医、総合内科専門医	30349203	4
内科	岩淵 良平	相澤病院	腎臓内科	11	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2022、腎臓専門医、透析専門医、総合内科専門医	30349203	4
内科	中西 正教	相澤病院	呼吸器内科統括医長	31	○	H27年度VHJ機構指導医養成講座、呼吸器内科専門医、総合内科専門医、気管支鏡専門医	30349203	4
内科	高田 宗武	相澤病院	呼吸器内科医長	16	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2018、呼吸器専門医、総合内科専門医	30349203	4
外科	田内 克典	相澤病院	院長	40	○	H16年度VHJ機構指導医養成講座、消化器外科指導医、外科指導医	30349203	4
外科	小田切 範晃	相澤病院	外科センター長	31	○	H19年度VHJ機構指導医養成講座、小児外科専門医、消化器外科専門医	30349203	4
外科	笹原 孝太郎	相澤病院	消化管外科統括医長	33	○	H18年度VHJ機構指導医養成講座、消化器内視鏡指導医	30349203	4
外科	高 賢樹	相澤病院	肝胆膵外科統括医長	27	○	H20年度VHJ機構指導医養成講座、外科指導医、消化器外科専門医、肝臓専門医	30349203	4
外科	三島 修	相澤病院	呼吸器外科統括医長	37	○	H21年度全日本病院協会講習会、外科専門医、呼吸器外科専門医	30349203	4
外科	三澤 賢治	相澤病院	呼吸器外科医長	23	○	H19年度VHJ機構指導医養成講座、外科専門医、呼吸器外科専門医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	フォーム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
外科	吉福 清二郎	相澤病院	外科センター医長	21	○	H22年度諏訪赤十字病院信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2010、外科専門医、消化器外科専門医	30349203	4
外科	宮本 昌武	相澤病院	外科センター医長	23	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2011、消化器外科専門医、消化器病専門医、外科専門医	30349203	4
外科	宮本 剛士	相澤病院	外科センター医長	12	○	R3富山大学附属病院第18回臨床研修指導医養成セミナー、外科専門医、消化器外科専門医	30349203	4
外科	亀山 亨	相澤病院	外科センター医長	13	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2017、消化器外科専門医、外科専門医	30349203	4
外科	西田 保則	相澤病院	外科センター医長	16	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2017、外科専門医、消化器病専門医	30349203	4
外科	平野 龍亮	相澤病院	乳腺・甲状腺外科医長	18	○	長野県医師会第7回講習会、日本外科学会外科専門医	30349203	4
外科	五味 卓	相澤病院	外科医長医長	12	○	埼玉医科大学病院群臨床研修指導医講習会(R4)、消化器外科専門医、小児外科専門医	030349203	4
外科	恒元 秀夫	相澤病院	心臓血管外科統括医長	36	○	H22年度JA厚生連研修医教育のためのワークショップ、心臓血管外科専門医、外科専門医	30349203	4
外科	大津 義徳	相澤病院	心臓血管外科医長	22	○	信大病院と中心とした医師卒後教育ワークショップ2008、心臓血管外科専門医、脈管専門医	030349203	4
救急科	吉池 昭一	相澤病院	救命救急センター長	26	○	H20九州厚生局第5回九州ブロック医師臨床研修指導医養成ワークショップ、救急科専門医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
救急科	小山 徹	相澤病院	救命救急センター特命推進役	37	○	H17年四病院団体協議会臨床研修指導者養成課程講習会、救急科専門医、脳神経外科専門医	30349203	4
救急科	山本 基佳	相澤病院	救命救急センター副センター長	17	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ「2013」、救急科専門医、麻酔科専門医	30349203	4
救急科	柴田 俊一	相澤病院	救急科医長	24	○	JA長野厚生連研修医教育のためのワークショップ、整形外科専門医、認定運動器リハビリテーション医	30349203	4
救急科	菅沼 和樹	相澤病院	救急科医長	14	○	R2年度ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ責任者養成講習会、信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ「2017」、救急科専門医	30349203	4
救急科	白戸 康介	相澤病院	救急科医長	12	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ「2020」救急科専門医	30349203	4
救急科	森下 美緒	相澤病院	救急科医長	11	○	R6第35回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会、救急科専門医	30349203	4
救急科	杉本 龍	相澤病院	救急科医長	11	○	R5富山大学附属病院第20回臨床研修指導医養成セミナー、救急科専門医、内科専門医	030349203	4
麻酔科	小笠原 隆行	相澤病院	麻酔科統括医長	33	○	H20年度長野県医師会・長野県病院協議会講習会、麻酔科専門医、麻酔科指導医、麻酔科標榜医	30349203	4
麻酔科	坂口 秀弘	相澤病院	麻酔科医長	33	○	H20年度社団法人日本病院会臨床研修指導医養成講習会、麻酔科専門医、麻酔科指導医、麻酔科標榜医	30349203	4
麻酔科	丹下 大祐	相澤病院	麻酔科医長	20	○	H24年度長野県医師会・長野県病院協議会講習会、麻酔科専門医、麻酔科標榜医、救急科専門医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
麻酔科	花岡 透子	相澤病院	麻酔科医長	23	○	VHJ機構指導医養成講座(R3)、麻酔科指導医・専門医、小児麻酔認定医、麻酔科標榜医	30349203	4
麻酔科	井門 千聡	相澤病院	麻酔科医長	15	○	日本病院会2021年度第1回臨床研修指導医講習会、麻酔科専門医、麻酔科標榜医	030349203	4
産婦人科	塩原 茂樹	相澤病院	産婦人科統括医長	34	○	H17年度VHJ機構指導医養成講座、産婦人科専門医	30349203	4
産婦人科	横川 裕美	相澤病院	産婦人科医師	11	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2018、産婦人科専門医、	030349203	4
小児科	水城 直人	相澤病院	小児科統括医長	22	○	富山大学附属病院H27年度養成セミナー、小児科専門医、集中治療専門医	30349203	4
小児科	柳生 茂希	相澤病院	小児科特任医長	23	○	H22全国自治体病院協議会第79回臨床研修指導医養成講習会、小児科専門医、血液専門医	030349203	4
脳卒中センター	北澤 和夫	相澤病院	脳卒中・脳神経センター長	38	○	H16年度VHJ機構指導医養成講座、脳神経外科専門医、救急科専門医	30349203	4
脳卒中センター	八子 武裕	相澤病院	脳神経外科統括医長	25	○	H18全国自治体病院協議会新養成講習会、脳神経外科専門医、脳卒中専門医	30349203	4
脳卒中センター	佐藤 大輔	相澤病院	脳血管内治療センター長	22	○	諏訪赤十字病院信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2010、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医	30349203	4
脳卒中センター	横田 陽史	相澤病院	脳神経外科医師	7	○	R5富山大学附属病院第20回臨床研修指導医養成セミナー、脳神経外科専門医、脳神経血管内治療専門医	030349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
形成外科	菊池 二郎	相澤病院	形成外科統括医長	30	○	H19年度社団法人日本病院会臨床研修指導医養成講習会、形成外科専門医	30349203	4
形成外科	大坪 美穂	相澤病院	形成外科 医長	17	○	全国自治体病院協議会第119回臨床研修指導医養成講習会(H26)、形成外科専門医、熱傷専門医	30349203	4
形成外科	水藤 元武	相澤病院	形成外科医長	11	○	R5富山大学附属病院第20回臨床研修指導医養成セミナー、形成外科専門医	030349203	4
精神科	福田 崇宏	相澤病院	精神神経科医長	22	○	防衛医科大学校病院講習会、精神科専門医	30349203	4
選択(眼科)	今井 弘毅	相澤病院	眼科統括医長	22	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2017、眼科専門医	30349203	4
選択(整形外科)	山崎 宏	相澤病院	整形外科センター長	26	○	H20年度長野県医師会・長野県病院協議会講習会、整形外科専門医、手外科専門医	30349203	4
選択(整形外科)	清野 繁宏	相澤病院	整形外科医長	21	○	H22年度JA厚生連研修医教育のためのワークショップ	30349203	4
選択(整形外科)	小平 博之	相澤病院	整形外科統括医長	22	○	諏訪赤十字病院信州蓼科医師卒後教育ワークショップ2011、整形外科専門医	30349203	4
選択(病理科)	下条 久志	相澤病院	病理診断科統括医長	30	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2018、臨床検査専門医、細胞診専門医	30349203	4
選択(病理科)	小豆畑 康児	相澤病院	病理診断科医長	22	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2014、病理専門医、病理専門医研修指導医、細胞診指導医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
選択(泌尿器科)	矢ヶ崎 宏紀	相澤病院	泌尿器科統括医長	28	○	H27年度JA厚生連研修教育のためのワークショップ [®] 2015、泌尿器科専門医、泌尿器科指導医	30349203	4
選択(泌尿器科)	杉本 貴与	相澤病院	泌尿器科医長	20	○	信州大学を中心とした医師卒後教育ワークショップ [®] 2015、泌尿器科専門医	30349203	4
選択(化学療法科)	中村 将人	相澤病院	化学療法科統括医長	26	○	H22年度諏訪赤十字病院信州蓼科医師卒後教育ワークショップ [®] 2010、外科専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医	30349203	4
選択(化学療法科)	杉井 絹子	相澤病院	化学療法科医師	16	○	信州大学を中心とした医師卒後教育ワークショップ [®] 2015、消化器病専門医、総合内科専門医	30349203	4
選択(緩和ケア科)	野池 輝匡	相澤病院	緩和ケア科統括医長	33	○	H17年度四病院団体協議会臨床研修指導者養成課程講習会、緩和医療専門医、がん治療認定医	30349203	4
選択(耳鼻いんこう科)	茂木 英明	相澤病院	耳鼻いんこう科統括医長	23	○	R1富山大学第17回臨床研修指導医養成セミナー、耳鼻咽喉科専門医、臨床遺伝専門医	30349203	4
選択(放射線科)	小口 和浩	相澤病院	放射線診断科統括医長	36	○	H19年度VHJ機構指導医養成講座、放射線科専門医、放射線診断専門医、核医学専門医、PET核医学認定医	30349203	4
選択(放射線科)	伊藤 敦子	相澤病院	放射線診断科医長	35	○	諏訪赤十字病院信州蓼科医師卒後教育ワークショップ [®] 2009、放射線診断専門医、核医学専門医、PET核医学認定医	30349203	4
選択(リハビリテーション科)	大竹 弘哲	相澤病院	リハビリテーション科統括医長	28	○	H25群馬県臨床研修指導医養成講習会、リハビリテーション科専門医、神経内科専門医	030349203	4
選択(リハビリテーション科)	柿澤 昌希	相澤病院	リハビリテーション科医長	11	○	第19回臨床研修指導医養成セミナー(R4)、リハビリテーション科専門医、神経内科専門医	030349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	フナギラ番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
地域医療	宮田 和信	相澤東病院	院長	40	○	臨床研修指導医(H17年度VHJ機構指導医養成講座)日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本消化器病学会消化器病専門医	30349203	3, 4
地域医療	近藤 清彦	相澤東病院	診療部長	47	○	臨床研修指導医(H21年度兵庫医科大学病院臨床研修指導医養成講座)日本神経学会神経内科専門医、日本内科学会総合内科専門医	30349203	4
地域医療	柳田 卓也	相澤東病院	診療部医長	23	○	臨床研修指導医(信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ2013)、日本形成外科学会形成外科専門医	30349203	4
地域医療	小見山 祐一	小見山医院	院長	31	○	臨床研修指導医(H18年度VHJ機構指導医養成講座)、日本病理学会指導医	30349203	3, 4
地域医療	岸本 浩史	小見山医院		33	○	臨床研修指導医(H18年度VHJ機構指導医養成講座)、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医	30349203	4
地域医療	唐木 千穂	あかはね内科・神経内科医院	院長	30	×	日本神経学会専門医、日本内科学会認定医	030349203	3
精神科	関 健	城西病院	理事長・総長	48	○	H19年度全日本病院協会・日本医療法人協会臨床研修指導医講習会、精神保健指定医、日本総合病院精神医学会専門医、日本精神神経学会専門医・指導医	30349203	1, 3, 4
精神科	田丸 恒実	城西病院	副院長	25	○	H16年度北信越地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医	30349203	4
精神科	植田 秀穂	城西病院	医長	34	○	H23年度精神科七者懇東日本地区臨床研修指導医講習会、日本精神神経学会専門医	30349203	4
地域医療	宮城 彰	神城醫院 白馬行 ¹⁷	院長 施設長	50	○	H18年度長野県医師会・長野県病院協議会臨床研修指導医講習会、日本消化器外科認定医、麻酔科標榜医、日本医師会認定産業医、介護支援専門員	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
精神科	桑村 智	ミサトピア小倉病院	院長	31	○	H15年度国立保健医療科学院「臨床研修指導医講習会、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医	30349203	3, 4
小児科(選択)	稲葉 雄二	長野県立こども病院	院長	32	○	信大病院を中心とした医師卒後教育ワークショップ 2008、H26年度プログラム責任者養成講習会	30349203	3, 4
小児科(選択)	樋口 司	長野県立こども病院	総合小児科部長	33	○	第15回小児医のための講習会、日本小児科学会専門医、小児神経専門医	30349203	3, 4
小児科(選択)	長崎 啓祐	長野県立こども病院	内分泌代謝科部長	28	○	厚生労働省臨床研修指導医(第36号)	30349203	4
小児科(選択)	小森 一寿	長野県立こども病院	血液腫瘍科副部長	16	○	信大を中心とした医師卒後教育ワークショップ2014	30349203	4
小児科(選択)	藤井 義之	長野県立こども病院	こころの診療科部長	16	○	第20回小児科医のための臨床研修指導医講習会	30349203	4
小児科(選択)	伊藤 靖典	長野県立こども病院	アレルギーセンター長	22	○	第70回診臨床研修指導医養成講習会	30349203	4
病理(CPC)	浅香 志穂	長野県立こども病院	臨床検査・病理診断科部長	16	×	病理専門医研修指導医	30349203	
地域医療	片井 聡	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	診療部長兼 リハビリテーション部長	32	○	H24長野県厚生連研修医教育の為にワークショップ修了。日本リハビリテーション医学会専門医。日本神経学会専門医。日本内科学会認定内科医	30349203	3, 4
地域医療	大澤 道彦	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	統括院長	41	○	信大病院医師卒後教育ワークショップ 2008修了。日本脳神経外科学会専門医	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030349

臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	宮城 浩一	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	診療部長	38	○	H25長野県厚生連研修医教育のためのワークショップ [®] 修了. 日本神経学会専門医. 日本内科学会総合内科専門医	30349203	4
地域医療	瓦葺 健太郎	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	脳神経外科部長	29	○	H30長野県厚生連研修医教育の為のワークショップ [®] 修了. 日本脳神経外科学会専門医. 日本脳卒中学会専門医	30349203	4
地域医療	前田 道宣	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	名誉センター長	50	○	H20年度長野県医師会・長野県病院協議会臨床研修指導医講習会修了. 日本リハビリテーション医学会専門医. 日本整形外科学会専門医	30349203	4
地域医療	佐藤 貴英	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	脳神経外科副部長	26	○	H21武蔵野赤十字病院臨床研修医指導者講習会修了. 日本脳神経外科学会専門医	30349203	4
地域医療	田中 征雄	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	内科医師	43	○	信大病院医師卒後教育ワークショップ [®] 2004修了. 日本神経学会専門医. 日本内科学会総合内科専門医	30349203	4
地域医療	辻 勉	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	脳神経外科医師	45	○	H26長野県厚生連研修医教育のためのワークショップ [®] 修了. 日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本認知症学会専門医	30349203	4
救急部門	横堀 将司	日本医科大学付属病院	大学院教授	24	○	第11回日本医科大学臨床研修指導医教育ワークショップ [®]	30349203	3, 4
救急部門	五十嵐 豊	日本医科大学付属病院	講師	15	○	第13回日本医科大学臨床研修指導医教育ワークショップ [®]	30349203	4
救急部門	岡田 一郎	日本医科大学付属病院	講師(定員外)	24	○	第17回日本医師会 指導医のための教育ワークショップ	30349203	4
救急部門	恩田 秀賢	日本医科大学付属病院	助教・医員	23	○	第1回日本医科大学付属病院臨床研修指導医教育ワークショップ [®]	30349203	4

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 病院施設番号: 030349 臨床研修病院の名称: 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)

※ 「担当分野」欄には、様式A-10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 （ 長野県 ）

研修プログラムの名称 相澤病院卒後臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
相澤病院	030349	基幹型	長野県	840時間	所定内・外に行う当直（夜勤）、日直、準夜 ・当直（夜勤） 月2～3回 ・日直 月1～2回 ・準夜 月2回	約720時間 対象となる臨床研修医20 名（2023年度）	適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。